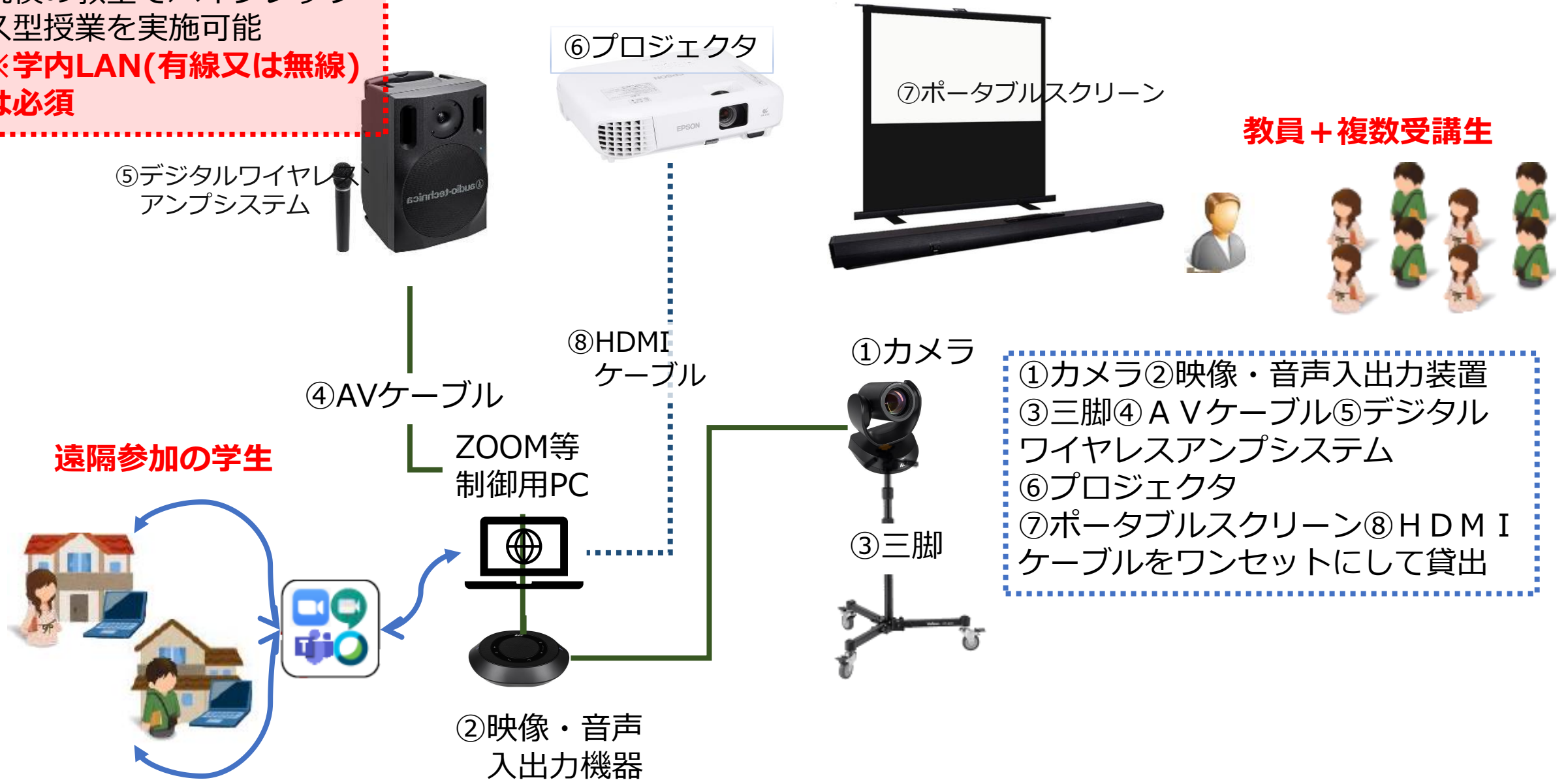


プロジェクタ, AV装置等が  
整備されていない比較的小  
規模の教室でハイフレック  
ス型授業を実施可能

※学内LAN(有線又は無線)  
は必須

## ハイブリッド(ハイフレックス)型授業実施環境 All-in-Oneタイプ

## 機器等接続概念図



# ハイブリッド(ハイフレックス)型授業実施環境 All-in-Oneタイプ

## 貸出機器等一覧



## ハイブリッド型授業ー3つのタイプ

大・中規模のA  
V装置が整備さ  
れた教室等では  
「ハウリング」  
対策が重要

- ハイフレックス型 (Hybrid-Flexible)
  - 同じ内容の授業を、対面とオンラインで同時に行う授業方法
    - 学生が自由に選択
    - どちらでも「同じ質の授業」
    - 同時に両方を考慮 (高難易度)

参考: Hybrid-Flexible Course Design (B.J. Beatty)  
<https://edtechbooks.org/hvflex> など



- ブレンド型 (Blended)
  - 対面とオンラインを、教育効果を考えて組み合わせる授業方法
    - 「反転授業」は、この一形態
    - 工夫すればフルオンラインにも適用可



15回の授業

- 分散型
  - 同じ回異なる内容の授業を対面とオンラインで行い、学生は分散して受講する授業方法
    - 主に人数制限のための対応
    - 複数回実施等による負荷増



15回の授業

5